

令和8年4月1日
岐阜大学医学部附属病院

岐阜大学医学部附属病院における医療従事者の負担の軽減
及び処遇の改善に関する取組事項について

本病院における、医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善の取組の推進体制等は、以下のとおりです。

記

1. 推進組織

診療連携改善委員会

2. 推進責任者

病院長補佐 恒川 新

3. 推進組織構成員

医師 5名

看護師 1名

薬剤師 1名

技師 3名

事務部 1名

・・・・・・・・計 11名

4. 病院職員に対する取組の周知方法

- ・科長会議、医局長等合同会議における周知
- ・院内職員向けホームページへの掲載

5. 令和8年度 医師の労働時間短縮に向けた取組

6. 令和8年度 医師の負担軽減計画

7. 令和8年度 看護職員の負担軽減計画

別紙のとおり

2. 労働時間短縮に向けた取組（項目ごとに任意の取組を記載）

（1）タスク・シフト／シェア

【看護師】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【医師事務作業補助者】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【薬剤師】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【診療放射線技師】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【臨床検査技師】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【臨床工学技士】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【理学療法士・作業療法士・言語聴覚士】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【視能訓練士】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【入院の説明】

計画策定時点での取組実績	入院前からの患者支援として、入院後の管理に適切に繋がるよう総合患者サポートセンター看護師、病棟看護師、ソーシャルワーカー及びアシスタントコンシェルジュが連携を図り、入院前情報収集や情報共有、患者や家族等の説明を効率的に行っている。
計画期間中の取組目標	引き続き、関係職種による入院前情報収集や情報共有、患者や家族等の説明を実施する。

【検査手順の説明】

計画策定時点での取組実績	関係職種が連携して、初診時の検査や術前検査の案内、後日の検査手順等を帳票を使い説明補助を行っている。 内視鏡検査・治療時に、次回の内視鏡検査が決まっている場合の説明は、光学医療診療部で実施している。
計画期間中の取組目標	引き続き、関係職種による初診時の検査や術前検査の案内、後日の検査手順等の説明及び説明補助を行う。

(2) 医師の業務の見直し

【宿日直体制の見直し】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【複数主治医制等の導入】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【医師間のタスク・シフト／シェア】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【カンファレンス等の勤務時間内実施や所要時間の短縮】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【患者・家族へ病状説明の勤務時間内実施】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【その他医師の業務の見直し】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

(3) その他の勤務環境改善

【ICTを活用した業務削減・業務効率化】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【子育て世代の医師が働きやすい環境を整備】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【院内保育・病児保育・学童保育・介護サービスの整備や利用料補助等】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【医療機能の分化・連携】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

【その他勤務環境改善に向けた取組】

計画策定時点での取組実績	参考資料参照
計画期間中の取組目標	参考資料参照

(4) 副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

【兼業先での労働時間】

計画策定時点での取組実績	兼業を行う際は兼業依頼元機関が兼業依頼フォームにより依頼をし、兼業担当部署が兼業許可基準を満たしているかを審査した上で、許可を行っている。 また、兼業実施後には、兼業依頼元機関が兼業実績フォームにより実績報告を行うこととしている。 兼業依頼フォーム及び兼業実績フォームで入力された内容を勤怠システム (Dr. JOY) に反映することで、院内の労働時間と兼業先での労働時間を一元管理している。
計画期間中の取組目標	引き続き、上記事項に取り組む

【兼業先での宿日直許可】

計画策定時点での取組実績	兼業先の医療機関において、宿直・日直業務を行う場合は、宿日直許可の取得状況を確認している。
計画期間中の取組目標	引き続き、兼業先での宿日直許可の取得状況を確認するとともに、未取得の医療機関に対して宿日直許可の取得を促す。

(別添2-1) 労働時間短縮に向けた取組 (タスク・シフト/シェア)

取組の状況は「業務内容」毎に医療機関内のすべてで実施している場合のほか、一部の診療科、一部の病棟等で実施している場合も考えられることから、医療機関内のすべてで実施している場合には「○全部実施」を、一部の診療科や病棟等で実施している場合には「△一部実施(5割以上)」又は「▲一部実施(5割未満)」を選択すること。また、実施していない場合は空欄とし、当該医療機関には該当する業務がない場合は「-該当業務なし」を選択すること。

(1) タスク・シフト/シェア

職種	業務内容		取組目標	取組実績	取組実績 【確認時点】	
			※R7以降は当年度の取組目標を記入	※前年度までの実績 【年度始期】		
看護師	特定行為（行為区分）の実施 (内訳)	1	特定行為（行為区分）の実施	△:一部実施(5割以上)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-1	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-2	侵襲的陽圧換気の設定の変更	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-3	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-4	人工呼吸管理がなされている者に対する鎖静脈の投与量の調整	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-5	人工呼吸器からの離脱	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-6	気管カニューレの交換	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-7	一時的ペースメーカーの操作及び管理			
		1-8	一時的ペースメーカーリードの抜去			
		1-9	経皮的肺補助装置の操作及び管理			
		1-10	大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整			
		1-11	心嚢ドレーンの抜去			
		1-12	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-13	胸腔ドレーンの抜去	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-14	腹腔ドレーンの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。)	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-15	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換			
		1-16	膀胱ろうカテーテルの交換			
		1-17	中心静脈カテーテルの抜去	△:一部実施(5割以上)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-18	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-19	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-20	創傷に対する陰圧閉鎖療法	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-21	創部ドレーンの抜去	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-22	直接動脈穿せん刺法による採血	△:一部実施(5割以上)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-23	橈骨動脈ラインの確保	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-24	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理			
		1-25	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-26	脱水症状に対する輸液による補正	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-27	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-28	インスリンの投与量の調整			
		1-29	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-30	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-31	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-32	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-33	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-34	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
		1-35	抗けいれん剤の臨時的投与			
		1-36	抗精神病薬の臨時的投与			
1-37	抗不安薬の臨時的投与					
1-38	抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整					
事前に取決められたプロトコールに基づく薬剤の投与、採血・検査の実施	2	予め特定された患者に対し、医師の事前の指示の下、事前に取決められたプロトコールに沿って薬剤を投与する	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)		
	3	予め特定された患者に対し、医師の指示に基づき、事前に取決められたプロトコールに沿って採血・検査を行う	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)		
救急外来における医師の事前の指示や事前に取決められたプロトコールに基づく採血・検査の実施	4	救急外来において、医師が予め患者の範囲を示して、事前の指示や取決められたプロトコールに基づく、医学的検査のための血液検査の検査オーダーの入力・採血・検査の実施	-:該当業務なし	-:該当業務なし		
血管造影・画像下治療（IVR）の介助	5	血管造影・血管内治療中の介助・IVR(画像下治療)の介助<終了後の圧迫止血・止血確認・圧迫解除を含む>	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)		
注射、採血、静脈路の確保等	6	ワクチン接種	-:該当業務なし	-:該当業務なし		
	7	皮下注射・筋肉注射・静脈注射（小児・新生児を含む）	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)		
	8	静脈採血（小児・新生児を含む）	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)		
	9	動脈路からの採血（小児・新生児を含む）	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)		
	10	静脈路確保（小児・新生児を含む）	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)		
	11	静脈ライン・動脈ラインの抜去及び止血（小児・新生児を含む）	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)		
カテーテルの留置、抜去等の各種処置行為	12	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの抜去（小児・新生児を含む）	-:該当業務なし	-:該当業務なし		
	13	皮下埋め込み式CVポートの穿刺	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)		
	14	手術時、手術部位（創部）の消毒・ドレーピング	-:該当業務なし	-:該当業務なし		
	15	処置行為 <爪切り・鶏眼処置・創傷処置・ドレッシング抜去・抜糸・軟膏処置>	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)		
	16	胃管・EDチューブの挿入及び抜去（小児を含む）	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)		
	17	尿道カテーテル留置	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)		
診察前や検査前の情報収集	18	診察前や検査前の情報収集（病歴聴取・バイタルサイン測定・トリアージ、服薬状況確認、チェックシートを用いるなど）リスク因子のチェック、検査結果の確認	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)		
その他	19	検査等の説明（各種書類の説明・同意書の受領）	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)		
	20	光線療法開始・中止及びその結果について客観的な結果の記述や入力	-:該当業務なし	-:該当業務なし		
	21	薬剤指導、患者教育	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)		
	22	入院時の説明（オリエンテーション）	○:全部実施	○:全部実施		
	23	病院救急車での患者搬送時の同乗	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)		
	24	院内での患者移送・誘導	○:全部実施	○:全部実施		
	25	手術後患者の看護	○:全部実施	○:全部実施		
	26	他診療科手術終了後に引き続き執刀する際の時間調整・連絡	○:全部実施	○:全部実施		

職種	業務内容		取組目標	取組実績	取組実績 [確認時点]
			※R7以降は当年度の取組目標を記入	[年度始期] ※前年度までの実績	
助産師	院内助産	1	院内助産システム<低リスク妊婦の分娩管理(一部)・妊産婦の保健指導>	○:全部実施	○:全部実施
	助産師外来	2	助産師外来 <低リスク妊婦の妊婦健診(一部)・妊産婦の保健指導>	○:全部実施	○:全部実施
薬剤師	周術期における薬学的管理等	1	手術室において、薬剤に関連する業務の実施 <手術で使用する薬剤の払い出し・手術後残薬回収・鎮静薬の調製・鎮静薬投与器具の準備・周術期に使用する薬学的管理>	△:一部実施(5期以上)	△:一部実施(5期以上)
	病棟等における薬学的管理等	2	病棟等における薬剤管理 <薬剤の在庫管理・ミキシング・ミキシングを行った点滴薬剤等のセッティング・与薬等の準備>	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	事前に取り決めたプロトコールに沿って行う処方された薬剤の投与量の変更等	3	事前に取り決めたプロトコールに沿って、処方された薬剤の変更(※) <投与量変更・投与方法変更・投与期間変更・剤形変更・含有規格変更等>	○:全部実施	○:全部実施
	薬物療法に関する説明等	4	患者の薬物療法全般に関する説明	△:一部実施(5期以上)	△:一部実施(5期以上)
	医師への処方提案等の処方支援	5	手術後の患者を訪床して、 <術後痛を評価し、医師に鎮静薬を提案・術前に中止していた薬が術前指示通り再開しているかの確認>	△:一部実施(5期以上)	△:一部実施(5期以上)
		6	患者を訪床などして情報収集し、医師に処方提案や処方支援を実施 ・効果・副作用の発現状況や服薬状況の確認 ・診療録等から服薬内容の確認 ・多剤併用、検査結果や処方歴、薬物アレルギー情報の確認などを行い、医師に対して情報提供を行う	△:一部実施(5期以上)	△:一部実施(5期以上)
	糖尿病患者等における自己注射や自己血糖測定等の実技指導	7	糖尿病患者の自己血糖測定やインスリン等自己注射等の実技指導 <直接侵襲性を伴う行為は実施できない>	△:一部実施(5期以上)	△:一部実施(5期以上)
	その他	8	定期的な効果・副作用の発現状況や服薬状況の確認等を行うための分割調剤	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		9	薬の効果・副作用状況の把握、服薬指導の実施	○:全部実施	○:全部実施
診療放射線技師	撮影部位の確認・検査オーダーの代行入力等	1	撮影部位の確認・追加撮影オーダー(医師の事前指示に基づく実施) <検査で認められた所見について、客観的な結果を確認し、医師に報告>(※)	▲:一部実施(5期未満)	▲:一部実施(5期未満)
	画像誘導放射線治療(IGRT)における画像の一次照合等	2	画像誘導放射線治療(IGRT)における日々の照射に際し、放射線治療計画を基準とした位置照合画像の一次照合を行い、一定基準を超えた位置誤差を確認した場合に医師に報告し判断を仰ぐ	○:全部実施	○:全部実施
	放射線造影検査時の造影剤の投与、投与後の抜針・止血等	3	放射線造影検査時の造影剤注入確認・抜針・止血	○:全部実施	○:全部実施
	血管造影・画像下治療(IVR)における補助行為 ※全医療職種が対応可能	4	血管造影・画像下治療(IVR)における医師の指示の下、画像を得るためカテーテル及びガイドワイヤー等の位置を医師と協働して調整する操作(※)		
		5	画像下治療(IVR)術前における医師等により事前作成されたチェックリストに基づく、 ・採血結果の確認 ・リスクファクターの確認 ・服薬状況の確認 ・医師への報告		
	病院又は診療所以外の場所での医師が診察した患者に対するエックス線の照射	6	病院又は診療所以外の場所での、診察後の患者に対する医師又は歯科医師の指示による出張して百万電子ボルト未満のエネルギーを有するエックス線の照射	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	放射線検査等に関する説明、同意書の受領	7	検査や治療の説明と同意(含む相談) 放射線検査(CT/MRI/RI)の説明や副作用に関する説明、検査前の問診 IVRの定型的な手技の説明、被ばくに関する説明		
	放射線管理区域内での患者誘導	8	放射線管理区域内での患者誘導	○:全部実施	○:全部実施
	医療放射線安全管理責任者	9	医療放射線安全管理責任者		
	その他	10	診療放射線技師が実施可能な検査結果に異常を疑った際の医師への連絡	△:一部実施(5期以上)	△:一部実施(5期以上)
	R3年度改正項目	11	・病院又は診療所以外の場所における医師又は歯科医師が診察した患者に対する、その医師又は歯科医師の指示を受け、出張して超音波診断装置その他の画像による診断を行うための装置であつて厚生労働省令で定めるものを用いた検査(※)	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		12	・静脈路に造影剤注入装置を接続する行為、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為	△:一部実施(5期以上)	△:一部実施(5期以上)
		13	・動脈路に造影剤注入装置を接続する行為(動脈路確保のためのものを除く。)及び造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為	△:一部実施(5期以上)	△:一部実施(5期以上)
		14	・核医学検査のために静脈路に放射性医薬品を投与するための装置を接続する行為、当該放射性医薬品を投与するために当該装置を操作する行為並びに当該放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為		
		15	・下部消化管検査のために肛門にカテーテルを挿入する行為、当該カテーテルから造影剤及び空気を注入する行為並びに当該カテーテルから造影剤及び空気を吸引する行為(※)	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		16	・上部消化管検査のために鼻腔に挿入されたカテーテルから造影剤を注入する行為及び当該造影剤の注入が終了した後に当該カテーテルを抜去する行為	一:該当業務なし	一:該当業務なし

職種	業務内容		取組目標 ※R7以降は当年度の取組目標を記入	取組実績 〔年度始期〕 ※前年度までの実績	取組実績 〔確認時点〕
臨床検査技師	1	心臓・血管カテーテル検査、治療における直接侵襲を伴わない検査装置の操作	心臓・血管カテーテル検査、治療における超音波検査や心電図検査、血管内の血圧の観察・測定等、直接侵襲を伴わない検査装置の操作		
	2	負荷心電図検査等における生体情報モニターの血圧や酸素飽和度などの確認	負荷心電図検査等の生理学的検査実施前に患者に装着されている生体情報モニターの血圧や酸素飽和度などのバイタルサインを確認し、医師等と事前に取り決められた範囲の値になっているかどうかなどを確認し、検査を実施が可能かどうかを確認する	▲一部実施(5割未満)	▲一部実施(5割未満)
	3	持続陽圧呼吸療法導入の際の陽圧の適正域の測定	持続陽圧呼吸療法導入の際に行う陽圧の適正域を測定する検査 <脳波、心電図、呼吸の気流を検知するフローセンサー、いびき音を拾うマイクロフォン、胸壁・腹壁の拡張を検知する圧センサーの装着・脱着>		
	4	生理学的検査を実施する際の口腔内からの喀痰等の吸引	生理学的検査（省令第1条の2）実施の際の口腔内からの喀痰等の吸引		
	5	検査にかかる薬剤を準備して、患者に服用してもらう行為	検査にかかる薬剤を準備して、患者に服用してもらう 糖負荷試験にかかるブドウ糖液を患者に渡して服用してもらう 気道可逆性検査（呼吸機能検査）にかかる気管支拡張剤を患者に吸入してもらう 脳波検査にかかる睡眠導入剤を患者に渡し服用してもらう 尿素呼気試験の尿素錠を患者に渡し服用してもらう		
	6	病棟・外来における採血業務	病棟・外来における採血業務（血液培養を含む検体採取）	△一部実施(5割以上)	△一部実施(5割以上)
	7	血液製剤の洗浄・分割、血液細胞（幹細胞等）・胚細胞に関する操作	血液製剤の洗浄・分割 血液細胞（幹細胞等）・胚細胞に関する操作	○:全部実施	○:全部実施
	8	輸血に関する定型的な事項や補足的な説明と同意書の受領	医師の説明等の前後に輸血に関する定型的な事項や補足的な説明と同意（輸血療法や輸血関連検査の意義・解釈、輸血のリスクなど） 医師と患者、家族等が十分な意思疎通をとれるよう調整 輸血承諾書への署名を求め受領	▲一部実施(5割未満)	▲一部実施(5割未満)
	9	救急救命処置の場における補助行為の実施	救急救命処置の場において、医師行為に含まれない補助行為の実施 <生理学的検査・採血、検体検査、検査室への搬送・血圧測定 など>		
	10	細胞診や超音波検査等の検査所見の記載	細胞診や超音波検査等の検査所見を報告書に記載し、担当医に交付（※）	△一部実施(5割以上)	△一部実施(5割以上)
	11	生検材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本等の所見の報告書の作成	所見の下書きの作成 <生検材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本等>		
	12	病理診断における手術検体等の切り出し	手術検体等に対する病理診断における切り出し	▲一部実施(5割未満)	▲一部実施(5割未満)
	13	画像解析システムの操作等	画像解析システムの操作、デジタル病理画像のスキャナー取り込み、取り込んだ画像データの管理、デジタル病理画像管理機器装置の調整	▲一部実施(5割未満)	▲一部実施(5割未満)
	14	病理解剖	病理解剖（※）		
	15	その他	超音波検査（※）		
	16	病理解剖書のダブルチェック <誤字脱字、左右や臓器記載違い等>			
	17	輸血実施後、副作用出現の有無の観察、異変出現時、医師等への状況報告			
	18	健診等で行う接触を伴わない簡易な視力測定・眼圧測定			
R3年度改正項目	19	・医療用吸引器を用いて鼻腔、口腔又は気管カニューレから喀痰を採取する行為			
	20	・内視鏡用生検鉗子を用いて消化管の病変部位の組織の一部を採取する行為			
	21	・運動誘発電位検査	▲一部実施(5割未満)	▲一部実施(5割未満)	
	22	・体性感覚誘発電位検査	○:全部実施	○:全部実施	
	23	・持続皮下グルコース検査			
	24	・直腸肛門機能検査			
	25	・法第11条に規定する採血(以下この条において「採血」という。)を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に接続されたチューブにヘパリン加生理食塩水を充填する行為			
	26	・採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に点滴装置を接続する行為(電解質輸液の点滴を実施するためのものに限る。)			
	27	・採血を行う際に静脈路を確保し、当該静脈路に血液成分採血装置を接続する行為、当該血液成分採血装置を操作する行為並びに当該血液成分採血装置の操作が終了した後に抜針及び止血を行う行為	○:全部実施	○:全部実施	
	28	・超音波検査のために静脈路に造影剤注入装置を接続する行為、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為			

職種	業務内容		取組目標	取組実績	取組実績	
			※R7以降は当年度の取組目標を記入	【年度始期】 ※前年度までの実績	【確認時点】	
臨床工学技士	心臓・血管カテーテル検査・治療時に使用する生命維持管理装置の操作	1	心臓・血管カテーテル検査・治療時に使用する生命維持管理装置の操作	○:全部実施	○:全部実施	
	人工呼吸器の設定変更	2	人工呼吸器の設定変更	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
	人工呼吸器装着中の患者に対する動脈留置カテーテルからの採血	3	人工呼吸器装着中の患者に対する、血液ガス分析のため、動脈留置カテーテルから採血(カテーテル採血)	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)	
	人工呼吸器装着中の患者に対する喀痰等の吸引	4	人工呼吸器装着中の患者に対する、喀痰等の吸引	一:該当業務なし	一:該当業務なし	
	人工心肺を施行中の患者の血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更調整	5	医師の具体的指示の下、人工心肺中の患者の血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更調整 <人工心肺中の患者:生命維持管理装置装着中の患者>	○:全部実施	○:全部実施	
	血液浄化装置を操作して行う血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更調整	6	医師の具体的指示の下、血液浄化装置を操作して行う血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更調整	○:全部実施	○:全部実施	
	血液浄化装置のバスキュラーアクセスへの接続を安全かつ適切に実施する上で必要となる超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの血管径や流量等の確認	7	血液浄化装置の操作を安全かつ適切に実施する上で必要となる血液浄化に用いるバスキュラーアクセスの状態についての超音波診断装置を使用した確認	○:全部実施	○:全部実施	
	全身麻酔装置の操作	8	医師の具体的な指示の下、全身麻酔装置(「生命維持管理装置」に該当)の操作	一:該当業務なし	一:該当業務なし	
	麻酔中にモニターに表示されるバイタルサインの確認、麻酔記録の記入(代行入力)	9	麻酔中にモニターに表示されるバイタルサインの確認、麻酔記録の記入(代行入力)	一:該当業務なし	一:該当業務なし	
	全身麻酔装置の使用前準備、気管挿管や術中麻酔に使用する薬剤の準備	10	麻酔器の使用前準備、気管挿管や術中麻酔に使用する薬剤の準備<使用予定薬剤のピックアップ>	一:該当業務なし	一:該当業務なし	
	手術室や病棟等における医療機器の管理	11	手術室や病棟等の医療機器(麻酔器やシリンジポンプ等)の管理 <保守点検・医療機器の修理、対応・病棟等の機器管理(機器の取り寄せ・管理・補充・返却など)>	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)	
	各種手術等において術者に器材や医療材料を手渡す行為	12	・内視鏡検査・治療時や整形外科や心臓血管外科等の手術 ・心臓・血管カテーテル検査・治療 ・中心静脈カテーテル留置 ・胃管挿入 等 において、清潔野で術者に器材や診療材料を手渡す	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)	
	生命維持管理装置を装着中の患者の移送	13	手術後、又は集中治療室において、各種ラインの整理・麻酔科医等とともに患者の手術室退室誘導	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)	
	R3年度改正項目	14	・血液浄化装置の穿刺針その他の先端部のシャント、表在化された動脈若しくは表在静脈への接続又はシャント、表在化された動脈若しくは表在静脈からの除去	○:全部実施	○:全部実施	
		15	・手術室又は集中治療室で生命維持管理装置を用いて行う治療における静脈路への輸液ポンプ又はシリンジポンプの接続、薬剤を投与するための当該輸液ポンプ又は当該シリンジポンプの操作並びに当該薬剤の投与が終了した後の抜針及び止血	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)	
		16	・生命維持管理装置を用いて行う心臓又は血管に係るカテーテル治療における身体に電気的刺激を負荷するための装置の操作	○:全部実施	○:全部実施	
		17	・手術室で生命維持管理装置を用いて行う鏡視下手術における体内に挿入されている内視鏡用ビデオカメラの保持及び手術野に対する視野を確保するための当該内視鏡用ビデオカメラの操作	一:該当業務なし	一:該当業務なし	
理学療法士	リハビリテーションに関する各種書類の記載・説明・書類交付	1	リハビリテーションに関する各種書類の作成・説明・書類交付(リハビリテーション総合実施計画書、計画提供料に関わる書類、目標設定等支援・管理シート等)や非侵襲的検査の定型的な検査説明	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)	
作業療法士	リハビリテーションに関する各種書類の記載・説明・書類交付	1	リハビリテーションに関する各種書類の作成・説明・書類交付(リハビリテーション総合実施計画書、計画提供料に関わる書類、目標設定等支援・管理シート等)や非侵襲的検査の定型的な検査説明	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)	
	作業療法を実施するに当たっての運動、感覚、高次脳機能(認知機能を含む)、ADL等の評価等	2	作業療法を実施するにあたっての評価として行う運動、感覚、高次脳機能、ADL、IADL等に関する検査、並びに生活状況(ADL、IADL、本人の趣味・興味・関心領域等)、療養上の課題の聞き取り、把握	○:全部実施	○:全部実施	
言語聴覚士	リハビリテーションに関する各種書類の記載・説明・書類交付	1	リハビリテーションに関する各種書類の作成・説明・書類交付(リハビリテーション総合実施計画書、計画提供料に関わる書類、目標設定等支援・管理シート等)や非侵襲的検査の定型的な検査説明	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)	
	侵襲性を伴わない嚥下検査	2	医師又は歯科医師のプロトコールに基づき侵襲性を伴わない嚥下検査を実施し、その検査結果について客観的に解釈し、医師に報告(※)	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)	
	嚥下訓練・摂食機能療法における患者の嚥下状態に応じた食物形態等の選択	3	嚥下訓練・摂食機能療法において、患者の嚥下状態に応じた食物形態等の選択	○:全部実施	△:一部実施(5割以上)	
	高次脳機能障害、失語症、言語発達障害、発達障害等の評価に必要な臨床心理・神経心理学検査種目の実施等	4	高次脳機能障害(認知症含む)、失語症、言語発達障害、発達障害などの評価に必要な臨床心理・神経心理学検査種目の提案、実施及び検査結果を解釈し、医師に報告	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)	
視能訓練士	白内障及び屈折矯正手術に使用する手術装置への検査データ等の入力	1	白内障及び屈折矯正手術に使用する手術装置に手術前に視機能検査機器等で得た検査データ等を入力	○:全部実施	○:全部実施	
	視機能検査に関する検査結果の報告書の記載	2	検診時の視機能検査の実施と評価、検診結果報告書の作成	○:全部実施	○:全部実施	
義肢装具士	義肢装具の採型・身体へ適合させるために行う糖尿病患者等の足趾の爪切等	1	安全かつ適切に義肢装具の装着部位の採型・身体へ適合させるために行う、 ・糖尿病患者等の足趾の爪切り・胼胝等の研磨・切断術後のドレッシング等の断端形成	一:該当業務なし	一:該当業務なし	
	装具を用いた足部潰瘍の免荷	2	装具を用いた足底部潰瘍の免荷	一:該当業務なし	一:該当業務なし	
	切断者への断端管理に関する指導	3	切断者への断端管理に関する指導	一:該当業務なし	一:該当業務なし	
	その他	4	義肢装具を装着する予定の患部の装着部位の採型のために行うギブスカット・ギブス巻き	一:該当業務なし	一:該当業務なし	

職種	業務内容		取組目標	取組実績	取組実績 [確認時点]
			※R7以降は当年度の取組目標を記入	[年度始期] ※前年度までの実績	
救急救命士	病院救急車による患者搬送の際の患者観察	1	病院救急車による患者搬送の際の患者観察	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	救急外来等での診療経過の記録	2	救急室等での診療経過の記録	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	救急外来での救急患者受け入れ要請の電話対応	3	救急室での救急車受け入れ要請の電話対応	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	その他	4	病院内での患者移送	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	R3年度改正項目	5	救急外来の重度傷病者の救急救命活動	一:該当業務なし	一:該当業務なし
医師事務作業補助者	診断書等の文書作成補助	1	紹介状の返書	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)
		2	介護保険主治医意見書	○:全部実施	○:全部実施
		3	特定疾患(難病)臨床調査個人表	○:全部実施	○:全部実施
		4	レセプトに関する症状詳記	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		5	入院診療計画書の作成	○:全部実施	○:全部実施
		6	診療情報提供書	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)
		7	損保会社等に提出する診断書	○:全部実施	○:全部実施
		8	身障障害者診断書	○:全部実施	○:全部実施
		9	労災後遺障害診断書	○:全部実施	○:全部実施
	診療記録への代行入力	10	外来診療録作成(SOAP全て記載)	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		11	外来診療録作成(その他)	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)
		12	病棟回診の記録	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		13	手術記録	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		14	麻酔記録	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		15	退院サマリーの作成	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		16	検査の指示	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)
		17	画像の指示	△:一部実施(5割以上)	△:一部実施(5割以上)
		18	処置の指示	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		19	食事の指示	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		20	内服薬の処方	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		21	注射薬の処方	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		22	クリニカルパスの入力	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		23	地域医療連携パスの入力	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		24	初診患者への予診の記録	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		25	再診患者への予診の記録	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		26	診察・検査の予約・変更・調整	○:全部実施	○:全部実施
		27	入院予定患者の入力	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	医療の質の向上に資する事務作業	28	がん登録(院内・全国)	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		29	NCD登録	○:全部実施	○:全部実施
		30	JND登録	○:全部実施	○:全部実施
		31	JCVSD登録	○:全部実施	○:全部実施
		32	診療録や画像結果などの物的整理	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)
		33	臨床データ集計	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		34	学術論文などの資料の検索	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		35	臨床研修のための資料作成	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		36	教育や臨床研修のカンファレンス準備	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)
		37	カンファレンスの記録	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	入院時の案内等の病棟における患者対応業務	38	検査のための説明・同意書取得	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		39	入院手続きの説明・同意書取得	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		40	検査・手術等の日程調整	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		41	次回来院時の説明	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		42	逆紹介の説明	一:該当業務なし	一:該当業務なし
	行政上の業務	43	院内での患者移送・誘導	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		44	救急医療情報システム入力	▲:一部実施(5割未満)	▲:一部実施(5割未満)
		45	感染症サーベイランス事業	一:該当業務なし	一:該当業務なし
		46	ヒヤリ・ハット事例収集事業	一:該当業務なし	一:該当業務なし

※1 タスク・シフト/シェアを進めるに当たっては、医療安全の確保及び現行の資格法における職種毎の専門性を前提として、各個人の能力及び各医療機関の体制、医師との信頼関係等も踏まえることが重要である。計画の作成、見直しにあたって別添2-1を参考とする場合には、当該観点について十分留意すること。

※2 「取組実績」の欄について、計画に記載していない場合でも、医療機関として実施している業務内容には「○全部実施」など該当するものを選択すること。一方で、計画には取組目標に記載した内容に関して、現在の状況を把握するために必要な内容については必ず記載することとし、必ずしも医療機関で実施している取組の全てを記載しないこととしても差し支えない。

※3 計画の「取組実績」の欄について、参考資料において全部又は一部を代替することとしても差し支えない。その場合、計画に参考資料参照等と記載すること。また、当該対応を行う場合であっても、取組目標に記載した内容に関して、現在の状況を把握するために必要な内容については計画に記載すること。

(別添2-2) 労働時間短縮に向けた取組 (医師の業務の見直し、その他勤務環境改善のための取組)

取組の状況は「取組内容」毎に医療機関内のすべてで実施している場合のほか、一部の診療科、一部の病棟等で実施している場合も考えられることから、医療機関内のすべてで実施している場合には「○全部実施」を、一部の診療科や病棟等で実施している場合には「△一部実施(5割以上)」又は「▲一部実施(5割未満)」を選択すること。

(2) 医師の業務の見直し

取組内容		取組目標 <small>※R7以降は当年度の取組目標を記入</small>	取組実績 <small>[年度始期]</small> <small>※前年度までの実績</small>	取組実績 <small>[確認時点]</small>
宿日直体制の見直し	1	宿日直シフトの見直し (診療科毎の宿日直体制からの見直し)	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)
	2	オンコールの当番制の実施 (宿日直からオンコール体制への変更)	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)
	3	交替制勤務導入	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)
	4	宿日直を担う医師の範囲の拡大 (短時間勤務医師や中堅以上医師の参画)	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)
	5	宿日直中の業務の見直し		
	6	休日当番制の実施		
	7	当直明けの勤務負担の軽減	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)
	8	当直帯の申し送り時間帯を設定		
複数主治医制等の導入	9	複数主治医制・チーム制の導入	○:全部実施	○:全部実施
医師間のタスクシフト/シェア	10	病院総合医 (ホスピタリスト) の配置	○:全部実施	○:全部実施
	11	術後管理業務を集中治療医・麻酔科医・救急医等にタスクシフト	△:一部実施 (5割以上)	△:一部実施 (5割以上)
カンファレンス等の勤務時間内実施や所要時間の短縮	12	カンファレンス・院内委員会等の会議の勤務時間内実施	△:一部実施 (5割以上)	△:一部実施 (5割以上)
	13	カンファレンス・院内委員会等の会議の所要時間の短縮	△:一部実施 (5割以上)	△:一部実施 (5割以上)
	14	カンファレンス・院内委員会等の会議のWEB化	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)
	15	回診の回数、実施時間、参加者等の見直し		
患者・家族へ病状説明の勤務時間内実施	16	患者・家族へ病状説明の勤務時間内実施	△:一部実施 (5割以上)	△:一部実施 (5割以上)
	17	患者・家族へオンラインでの病状説明		
その他医師の業務の見直し	18	クリティカルパスの作成等による業務の標準化	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)
	19	研修医の学習環境の向上 (経験の見える化による効果的な業務配分等)		
	20	外来の機能分化 (紹介逆紹介の活性化)	△:一部実施 (5割以上)	△:一部実施 (5割以上)

※1 「取組実績」の欄について、計画に記載していない場合でも、医療機関として実施している業務内容には「○全部実施」など該当するものを選択すること。一方で、計画には取組目標に記載した内容に関して、現在の状況を把握するために必要な内容については必ず記載することとし、必ずしも医療機関で実施している取組の全てを記載しないこととしても差し支えない。

※2 計画の「取組実績」の欄について、参考資料において全部又は一部を代替することとしても差し支えない。その場合、計画に参考資料参照等と記載すること。また、当該対応を行う場合であっても、取組目標に記載した内容に関して、現在の状況を把握するために必要な内容については計画に記載すること。

(3) その他の勤務環境改善

取組内容		取組目標 ※R7以降は当年度の取組目標を記入	取組実績 [年度始期] ※前年度までの実績	取組実績 [確認時点]
ICTを活用した業務削減・業務効率化	1 副業・兼業先の労働時間、勤務間インターバルに対応した勤怠管理システムの導入	○:全部実施	○:全部実施	
	2 電子カルテ等への音声入力システムの導入	△:一部実施 (5割以上)	△:一部実施 (5割以上)	
	3 院外からの電子カルテ閲覧システム導入(スマートフォン等によるものを含む)	△:一部実施 (5割以上)	△:一部実施 (5割以上)	
	4 ビジネスチャット等医療関係者間コミュニケーションアプリ導入			
	6 電子カルテ等情報の視覚化・構造化による管理システム(手術室管理、救急センター管理、病床管理、患者容態管理等)の導入			
	7 外来診療WEB予約システムの導入			
	5 患者向け説明動画(入院前、検査、術前等)の導入	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)	
	8 電子問診・AI問診システムの導入	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)	
	9 同意取得の電子化			
	10 生成AIによる文書作成補助の導入	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)	
子育て世代の医師が働きやすい環境を整備	11 短時間勤務	○:全部実施	○:全部実施	
	12 時差出勤	○:全部実施	○:全部実施	
	13 変形労働時間制の導入	○:全部実施	○:全部実施	
	14 宿日直の免除	○:全部実施	○:全部実施	
	15 女性医師等就労支援事業・復職支援事業の実施、相談窓口	○:全部実施	○:全部実施	
院内保育・病児保育・学童保育・介護サービスの整備や利用料補助等	16 院内保育の導入等	○:全部実施	○:全部実施	
	17 病児保育の導入等	○:全部実施	○:全部実施	
	18 学童保育の導入等			
	19 介護サービスの整備等			
医療機能の分化・連携	20 地域の病院間での機能分化(救急の輪番制の導入等)	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)	
	21 診療所の開所日時間拡大による救急対応の分散			
	22 開業医による病院外来支援	▲:一部実施 (5割未満)	▲:一部実施 (5割未満)	
	23 病院診療所間の双方向の診療支援			
	24 介護、福祉の関係職種との連携等	○:全部実施	○:全部実施	
その他勤務環境改善に向けた取組	25 患者相談窓口の設置(クレームを受けた場合のサポート体制の充実)	○:全部実施	○:全部実施	
	26 病気と仕事の両立支援の取組	○:全部実施	○:全部実施	
	27 職員満足度調査の実施(意見聴取)	○:全部実施	○:全部実施	
	28 労働時間管理に関する院内説明会	○:全部実施	○:全部実施	
	29 医師等との意見交換会(医師労働時間短縮計画の作成・見直しのための意見交換を含む)	○:全部実施	○:全部実施	

※1 「取組実績」の欄について、計画に記載していない場合でも、医療機関として実施している業務内容には「○全部実施」など該当するものを選択すること。一方で、計画には取組目標に記載した内容に関して、現在の状況を把握するために必要な内容については必ず記載することとし、必ずしも医療機関で実施している取組の全てを記載しないこととしても差し支えない。

※2 計画の「取組実績」の欄について、参考資料において全部又は一部を代替することとしても差し支えない。その場合、計画に参考資料参照等と記載すること。また、当該対応を行う場合であっても、取組目標に記載した内容に関して、現在の状況を把握するために必要な内容については計画に記載すること。

令和8年度 医師の負担軽減計画

	現状・問題点	施設基準が求める事項等	対応方針・計画	具体的な取り組み内容
医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担（必須事項）	医師資格がなくてもできる業務が多い	①初診時の予診の実施	・診療科別問診票様式の見直し ・タブレット等を用いた問診票の導入	先行導入した3診療科について負担軽減効果を検証するとともに、課題の抽出を行う。
		②静脈採血等の実施	看護師及び臨床検査技師による静脈採血を引き続き実施する。 また、検査枠の拡大の実施を検討する。	実施状況について検討を行い、必要に応じて改善を図る。
		③入院の説明の実施	入院前からの患者支援を関係職種と連携して、入院後の管理に適切に繋がるよう総合患者サポートセンター看護師・薬剤士・管理栄養士、病棟看護師及びソーシャルワーカーが連携を図り、入院前情報収集や情報共有、患者や家族等への説明を効果的に実施する。	入院時支援加算及び入院支援加算の算定状況について、関係職種と連携して入院前の情報共有項目の収集や説明について着実に実施する。
		④検査手順の説明の実施	検査内容、診療内容によってばらつきのある検査手順の説明について、引き続き検討を行い、改善する。	内視鏡の検査時、次回の内視鏡検査が決まっている場合の説明は、光学診療部で実施できるように調整する。
		⑤服薬指導等の実施	・薬剤師による持参薬確認及び入院患者への服薬指導を引き続き実施する。 ・薬剤師によるPBPMを引き続き実施する。	・持参薬確認及び服薬指導については、件数を維持した上で、質の向上を図る。 ・PBPMのさらなる要件の拡大を検討する。
		⑥タスク・シフト/シェアの実施	医師業務のタスク・シフト/シェアを推進する。	医師労働短縮計画に基づき、タスク・シフト/シェアを推進する。
医療従事者の負担の軽減内容及び処遇の改善の取組事項（選択的取組事項）に資する計画の具体的な	医師の勤務負担が大きい。	①勤務計画、連続当直を行わない勤務体制の実施	現在実施している宿直・休日勤務割振表による確認を引き続き実施する。	勤務実績についても確認を行い、必要に応じて連続当直が行われた場合の原因分析や改善策について検討を行う。
		②前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間の確保（勤務間インターバル）	勤務間インターバルの確保を引き続き実施する。	勤怠管理システムにより、勤務間インターバルを確保した勤務計画のみを保存可能とする。
		③予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	予定手術前日の当直や夜勤を削減する。	当直時の勤務実態を踏まえて、予定手術前日の当直や夜勤についての検討を行い、必要に応じて改善を図る。
		④当直翌日の業務内容に対する配慮	予定手術前日の当直や夜勤を削減する。	当直時の勤務実態を踏まえて、当直翌日の勤務について検討を行い、必要に応じて改善を図る。
		⑤交替勤務制・複数主治医制の実施	・交替勤務制、チーム制を引き続き実施する。 ・グループ当直及びオンコール体制を導入する。	実施状況について検討を行い、必要に応じて改善を図る。
		⑥育児・介護休業法第23条第1項、同条第3項又は同法第24条の規定による措置を活用した短時間正規雇用医師の活用	育児短時間勤務を利用した常勤医師及びパート医師の雇用を推進する。	採用枠外での雇用を利用し、大学院生のパート医師や勤務上配慮する必要のある子育て中の女性医師の雇用を推進する。

令和8年度 看護職員の負担軽減計画

	現状・問題点	施設基準が求める事項等	対応方針・計画	具体的な取り組み内容
看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取組内容	看護師の勤務負担が大きい。	①看護職員と他職種との業務分担	薬剤師による持参薬確認および入院患者への服薬指導を引き続き実施する。休日のTPN調製、注射薬の個人セットを実施する。	持参薬確認（内服薬の内容）は、拡大されてきている。しかし、大きな負担となっているのは、確認した結果と実際に持参された内服薬との突合である。さらに医師の指示による変更への対応も必要となる。これらの内容について、少しでも分担できると負担軽減に繋がる。（看護部）件数を維持した上で、質の向上を図る。注射薬の個人セットを休日にも実施予定である。また、休日もTPNの薬剤部調製を実施予定である（薬剤部）
			臨床検査技師による病棟採血を引き続き実施する。	・2病棟（東5階・東8階）での臨床検査技師による病棟採血を維持継続する。 ・独歩可能な当日入院患者を対象とした病院2階検査部での生理検査時の採血支援（R7.3より東5階をトリアル病棟として実施中）
	看護師の事務的業務が多い	②看護補助者の配置	主として事務的業務を行う看護補助者や、夜間の看護補助者を配置する等、看護補助者の配置を充実させる。	具体的に募集方法等を検討し、採用を推進する。近隣の病院では、外国人の採用に着手している施設もある。
看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取組内容	フルタイムでの勤務が困難な職員がいる。	③短時間正規雇用の看護職員の活用	短時間正規雇用の看護職員の活用	育児短時間勤務や育児部分休業等を利用し、短時間正規雇用の看護職員を活用する。自身のキャリアを考えながら段階的にフルタイムに復帰できるような動機づけができる取り組みを継続する。
		④多様な勤務形態の導入	多様な勤務形態を導入する。	短時間勤務制度の利用やパート職員としての採用等により、多様な勤務体制を導入する。
	子供の面倒を見なければならないため、早期の復職や勤務に制限がある。	⑤妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	院内保育所の利用を促進する。	職員全体のニーズを把握し、病時保育の継続及び夜間保育の実施を検討する。
	看護師の夜勤負担が大きい。	⑥夜勤負担の軽減	・夜間の看護補助者を配置する。 ・多様な勤務形態の柔軟な活用を促進する。	・夜間の看護補助者を安定的に配置し、夜勤負担を軽減する。 ・12時間の日勤と12時間の夜勤による2交代勤務等、多様な勤務形態の柔軟な活用を検討する。 ・夜勤明けの超過勤務ゼロを目標に削減に取り組む。